

令和8年度 入試出題方針

入試の種類

一般選抜入試（前期） 歴史総合、日本史探究（選）

a. 出題のねらい

高等学校学習指導要領を反映した基本的な問題を出題する。
教科書の本文、写真、図、史料などを使用しながら、基本的な問題を出題する。
問題文に解答するための手がかりがあるので、問題文をよく読むことにより解答できる。
高等学校での普段の学習を大切にして、基本的な事項を理解していること。

b. 難易度と平均点の予想（設問ごとの予想正答率）

古代から近現代までの全般にわたり出題する。
どの設問についても6割の正答率と予想する。

c. 問題の量

大問5題（大問はそれぞれ8問の小問題で構成）とする。
全部で40問の小問題がある。
古代、中世、近世、近現代からそれぞれ1題ずつの大問とする。
古代から近現代にかけてのテーマ史について1題の大問とする。
近現代、テーマ史の大問には、一部に歴史総合の内容が含まれる。
すべて、3～5の選択肢から1つ記号で解答させる客観式の問題とする。
一問一答式の問題、正誤問題、穴埋め問題、時代順に並べ替える問題等がある。
3点×20問、2点×20問 合計100点

d. 受験生が解答の要する時間

45分